

パス名	内視鏡的胃瘻造設術（経腸栄養していた場合）				科名	消化器内科	病舎名			
患者氏名	様				年齢	歳	性別	男・女		
担当看護師					担当PT/OT					
主治医										
目標	胃瘻造設に対し、患者・家族が理解し同意している。合併症を引き起こさず退院することができる。									
経過	術前チェック	月 日（ 曜日）		月 日（ 曜日）						
目標	術前（前日までに） 入院時間（ : ）		術前（当日）		術後（当日）					
検査・処置	PEG挿予約 腹部エコー予約 腹部CT予約 上部消化管内視鏡検査予約		CBC 生化学 凝固（PT、APTT） 出血時間 感染症 血型 咽頭培養 胸部X線 腹部X線 上部消化管内視鏡検査 腹部エコー or/and 腹部CT		浣腸（必要に応じて） 口腔ケア					
食事	入院時指示食（ ） 糖尿病（有・無） 心疾患（有・無） 高血圧（有・無） 腎臓病（有・無） その他の疾患（有・無）		21時までに注入食。以後絶食。		絶飲食		絶食（夕より必要な内服のみ注入可）			
観察	入院時	転倒リスク（ ） リスク（大 中） 褥創リスク評価 活動性 点 可動性 点 知覚の認知 点 観察のポイント 自覚症状 腹痛・腹満 心窩部痛・嘔気・呼吸苦・吐下血 バイタル 血圧・脈拍・体温	入院時	体温	入室時	帰室時	4時間後	眠前	準夜帯（必要時）	準夜帯（必要時）
	身長（ cm） 体重（ kg） 腹部手術既往（有・無） 開口障害（有・無） 腹水（有・無） 不隠（有・無）		脈拍							
注射・内服	常用薬（無・有） 抗凝固薬・抗血小板薬 （無・有・中止（ / ））		常用薬記載		常用薬内服（可・不可） （必要な内服は下記に記載）		夕より内服薬再開（抗凝固薬を除く）			
活動	発熱時 以上 ボルタレン坐薬（ ）mg 胸痛時 ソセゴン A筋注 腹痛時 ブスコパン A筋注 ソセゴン A筋注 嘔気、嘔吐時 プリンペラン A筋注 血圧 mmHg以上 アダラートL（ ）1T 内服 血圧 mmHg以下 吐血、下血時 Dr call		内服 朝 昼 夕 眠前		内服 朝 昼		常用薬内服 夕 眠前			
	フリー 入浴可		フリー 入浴不可		ベット上安静 入浴不可					
説明	入院診療計画書の説明 検査オリ 病棟オリエンテーション									
その他	内視鏡検査同意書 PEG同意書 抗生物質問診表		同意書確認（Ns） IDカード 入院手続き○内服レベル（ ）		ストレッチャーの準備 内服レベル（ ）					
バリアンス	無 ・ 有		無 ・ 有		無 ・ 有		無 ・ 有			
看護							#1 体液平衡異常リスク状態 R/T 観血的処置 【成果目標値】 1. 体液バランス（ ）1極度に障害 2かなりの障害 3中程度に障害 4軽度に障害 5障害なし 2. 組織循環：腹部臓器（ ）1重度 2強度 3中程度 4軽度 5なし 3. 知識：治療処置（ ）1なし 2限定的 3中程度 4かなりの程度 5十分 【成果指標】 1. 体液バランス（ ） 血圧（ ）Ht（ ）血清電解質（ ） 2. 組織循環：腹部臓器（ ） 嘔気（ ）嘔吐（ ）腹痛（ ） 3. 知識：治療処置（ ）治療処置についての説明（ ）処置に伴う制限についての説明（ ） 【アセスメント】術後、合併症を起こさず経過できるよう早期観察、対応が必要である 【看護介入】バイタルサインモニタリング 【看護活動】 0）バイタルサイン 腹部状態 検査データ T）対症看護 E）症状の報告 カンファレンス参加者			
署名	外来Dr	外来Ns	Dr.	日勤	準夜	Dr.	深夜	日勤	準夜	

【氏名】	内視鏡的胃瘻造設術（経腸栄養していた場合）										科名	消化器内科			病舎名	
患者氏名	□ 様				年齢				性別	男・女		主治医				
担当看護師					担当PT/OT											
目 標	合併症引き起すことなく退院することができる。															
	月 日（ 曜日）			月 日（ 曜日）			月 日（ 曜日）			月 日（ 曜日）						
経 過	術後 1 日目			術後 2 日目			術後 3 日目			術後 4 日目						
目 標	腹痛、出血、創部感染等のトラブルなく経過する。															
検査・処置	○採血（至急） CBC 生化 胃瘻部消毒・洗浄 半抜糸 （全抜糸は7日前後を目安に行う） カテーテルを回転させる（1回/日） B・B															
食 事	昼：微温湯200ml （嘔吐、下痢などの症状が出たら、 2段階前のところへ戻って 再度ステップアップ）			朝：微温湯200ml 昼：栄養剤200ml （*1kcal/mlとして） +微温湯200ml			朝：栄養剤200ml +微温湯100ml 昼：栄養剤200ml +微温湯100ml			朝：栄養剤200ml +微温湯100ml 昼：栄養剤200ml +微温湯100ml						
観 察		深 夜	日 動	準 夜	深 夜	日 動	準 夜	深 夜	日 動	準 夜	深 夜	日 動	準 夜	深 夜	日 動	準 夜
	体温															
	血圧															
	脈拍															
	腹痛の有無															
	胃瘻部の状態															
	便性状															
	（その他記載）			（その他記載）			（その他記載）			（その他記載）						
注射・内服	内服薬						抗凝固薬再開									
常用薬	常用薬内服 朝 昼 夕 眠前			内服 朝 昼 夕 眠前			内服 朝 昼 夕 眠前			内服 朝 昼 夕 眠前						
	点滴3（ : - : ） ソルデム3A(500) 1B ガスター(10mg) 1A 点滴4（ : : - : ） ソルデム3A(500) 1B ガスター(10mg) 1A 側管 セファメジン キット 1g×2回 朝 夕 その後、主治医指示にて抜針															
活 動	主治医の診察後、トイレ歩行のみ可 入浴不可			病棟内フリー			院内フリー									
説 明																
その他	内服レベル（ ）			内服レベル（ ）			内服レベル（ ）			内服レベル（ ）						
バリエーション	無 ・ 有			無 ・ 有			無 ・ 有			無 ・ 有						
看 護																
署 名	Dr.	深夜	日動	準夜	Dr.	深夜	日動	準夜	Dr.	深夜	日動	準夜	Dr.	深夜	日動	準夜

【氏名】	内視鏡的胃瘻造設術（経腸栄養していた場合）										科名	消化器内科	病舎名			
患者氏名	□ 様			年齢	歳			性別	男・女		主治医					
担当看護師				担当PT/OT												
目標	合併症引き起こすことなく退院することができる。															
	月 日（曜日）			月 日（曜日）			月 日（曜日）			月 日（曜日）						
経過	術後5日目			術後6日目			術後7日目			術後8日目						
目標	腹痛、出血、創部感染等のトラブルなく経過する。															
検査・処置	胃瘻部消毒・洗浄						全抜糸（低栄養状態の場合は14日前後を目安に行う）			胃瘻周囲の皮膚は微温湯と石けんで洗う。						
	カテーテルを回転させる（1回/日） B.B															
食事	朝：栄養剤200ml + 微温湯100ml 昼：栄養剤200ml + 微温湯100ml 夕：栄養剤200ml + 微温湯100ml			朝：栄養剤400ml + 微温湯100ml 夕：栄養剤400ml + 微温湯100ml			朝：栄養剤400ml + 微温湯100ml 昼：栄養剤200ml + 微温湯100ml 夕：栄養剤400ml + 微温湯100ml			朝：栄養剤400ml + 微温湯50ml 昼：栄養剤400ml + 微温湯50ml 夕：栄養剤400ml + 微温湯50ml						
観察	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤	準夜	
	体温															
	血圧															
	脈拍															
	腹痛の有無															
	胃瘻部の状態															
	便性状															
	(その他記載)			(その他記載)			(その他記載)			(その他記載)						
注射・内服	内服薬															
常用薬	常用薬内服 朝 昼 夕 眼前			内服 朝 昼 夕 眼前			内服 朝 昼 夕 眼前			内服 朝 昼 夕 眼前						
活動	フリー 入浴不可									全抜糸翌日よりシャワー可						
説明																
その他	内服レベル（ ）			内服レベル（ ）			内服レベル（ ）			内服レベル（ ）						
バリアンス	無 ・ 有			無 ・ 有			無 ・ 有			無 ・ 有						
看護																
署名	Dr.	深夜	日勤	準夜	Dr.	深夜	日勤	準夜	Dr.	深夜	日勤	準夜	Dr.	深夜	日勤	準夜